

＜ヘルスリテラシーの視点を踏まえた看護学生の学習者としての 倫理的行動評価尺度の開発＞

研究年度	令和6年度
研究期間	令和6年度～令和8年度
研究代表者名	坂本仁美
共同研究者名	山澄直美, 濱里セツ子

目的：大学生は発達段階や学習環境等種々の移行期を迎える。自立した生活を求められることに加え、学業上のプレッシャーと、大学入学や通学等で遭遇する外的ストレス要因が相まって、メンタルヘルスやフィジカルヘルスの問題が初めて現れたり、症状が悪化したりすることがある。さらに、Covid-19の流行により、生活様式が変化することによる様々な健康上の影響が露見してきている。しかし、受診する割合が低く、治療に対する順守率が低いため、慢性化する機会が多いことが明らかとなっている¹⁾。また近年、大学生のうつ病罹患率が一般人口に比べてかなり高いことが問題視されている²⁾。大学生の健康リテラシーは、年齢、性別、喫煙状況、学習年度、および学習分野等の社会人口学的特性の影響を受けることを指摘されているとともに、ヘルスリテラシーは健康行動を修正する重要な要素であるともいわれている。青少年期は新しい健康行動が確立される時期であり、この行動は成人期まで続き、生涯を通じて健康と罹患率に影響を及ぼすことが明らかとなっている³⁾。ヘルスリテラシーは、健康や医療の情報を、「収集」「理解」「評価」「活用」して、適切な意思決定をして行動できる能力を指す⁴⁾。近年のCovid-19の流行により、デジタルコミュニケーション技術は躍進もあり、大学生のウェブベースの情報探索行動レベルは高い値を示している。しかし、情報の「活用」など能力については、低い値を示すものもある⁵⁾。そこで、本研究は、「活用」能力に焦点を当て、大学生のヘルスリテラシーを構成する要素を明らかにするとともに、ヘルスリテラシーに関係する因子を明確化することを目的とする。

方法：本研究は3年計画としており、初年度にあたる今期は、大学生のヘルスリテラシーについてのスコーピングレビューを実施した。フレームワークはP:Populationを看護学生、C:conceptをヘルスリテラシー、C:contextをヘルスリテラシーを構成する要素および評価尺度として、それに準じたキーワードを用いて検索した。電子データ

ベース (Google scholar、ERIC、MEDLINE、CINAHL、PubMed) および選択した論文の参考文献リストを検索対象とした。薬物乱用、性行動、喫煙、予防接種など特定の行動のみ、また特定の疾病を対象とした論文は除外した。また、予備検索の際、ヘルスリテラシーの「活用」をキーワードとしても抽出されなかったことから、対象文献を精読し、「活用能力」について抽出した。なお、スコアリングレビューの手法に則り、2名のレビュアーがすべてのタイトル/要約と全文研究を二重盲検スクリーニングして進め、2名のレビュアーの結果に相違が生じた場合は、第3のレビュアーの判断を仰ぐものとした。

結果：レビューは現在進行中であり、当初の計画通り2025年6月までに完了する予定である。なお、データベース検索より特定された文献レコード数は1,345件であり、重複が除外された文献は703件であった。

Table 1. Concept of search target and search words

concept	#1 health literacy	#2 university students	#3 scale	
search word	health literacy	university students college students undergraduate students higher education students undergraduate	scale test measure survey	questionnaire assessment inventory instrument

文献

- [1] Pedrelli, P., et al. (2015). College students: mental health problems and treatment considerations. *Academic psychiatry*, 39, 503-511. doi: 10.1007/s40596-014-0205-9.
- [2] Ibrahim, A. K., et al. (2013). A systematic review of studies of depression prevalence in university students. *Journal of psychiatric research*, 47(3), 391-400. doi: 10.1016/j.jpsychires.2012.11.015.
- [3] Viner, R., & Macfarlane, A. (2005). Health promotion. *Bmj*, 330(7490), 527-529. doi: 10.1136/bmj.330.7490.527.
- [4] Sørensen, K., et al. (2012). Health literacy and public health: a systematic review and integration of definitions and models. *BMC public health*, 12, 1-13.
- [5] Dadaczynski, K., et al. (2021). Digital health literacy and web-based information-seeking behaviors of university students in Germany during the COVID-19 pandemic: cross-sectional survey study. *Journal of medical Internet research*, 23(1), e24097. doi: 10.2196/24097